

淳工房

【ガラス工房におけるバイオマス燃料バーナーへの転換実践活動】

功績

24 時間燃焼のガラス溶解炉の燃料を灯油からバイオマス燃料（リサイクル食用油）に日本で初めて 100% 転換し、大幅な CO₂ 削減に成功しました。日本はもとより世界中のガラス工場・工房が使う燃料はいずれもが地下資源（重油・天然ガス）由来のものが殆どで、24 時間・通年稼働を余儀なくされるガラス溶解炉は環境問題にたいして近年特に神経質な対応を迫られてきました。バイオマス燃料は地上の植物由来の燃料であり、それを 100% 燃焼させても基本的に地球上の CO₂ は増えることはありません。さらにリサイクル(使用済み)油を使用することで資源の循環利用による廃棄物削減効果もあります。